



今月は、厨房について紹介しますので参考にしてください。



A Q 廚房の概要について教えてください

人員構成は男性三名（管理栄養士一名、調理師二名）、女性十七名（栄養士五名、調理師三名、調理員九名）で、一日の平均食事数、病院二四三食・老人保健施設二八八食・外来食堂食九五食を提供しています。

Q 食事の提供にあたり、どのようなことを心掛けていますか？

A 現在の食生活は、豊富における生活習慣病（成人病）の増加、食品の安全性（ダイ

オキシン、遺伝子組替え、食中毒）への不安などがあげられます。病院で作る食事は、患者さんの治療がより効果的に、また安全に行われるよう配慮し、加工品・既成食品の使用を控え、素材からの手づくりの食事として提供できるよう心掛けています。

病院食の特色について、教えてください

病院の食事は医師の指示のもと、患者さん個々の病状に応じた食事を提供して、治療・回復を図るものです。

従つて、献立、使用食品、調理方法、調味料の使用量、盛付け量などに差があり、多種多様に分類調理されたものを患者さんに提供します。

食事は大きく分けると、一般食と特別治療食とに区別されます。栄養量および食事規格が患者さん、性・年齢・病状などにより分類されます。

高齢者、成人、学童、幼児、離乳期の必要栄養量によって区分されます。

特別治療食は各疾病的食事療法の基準により



厨房での調理風景

三日（火曜・木曜・土曜日の昼食、夕食）選択を行っています。担当栄養士が患者さんのベットサイドに伺いA・B二種類の献立から患者さんの希望する献立を、オーダー表より選んでいただき提供しています。

**集団指導**  
毎週火曜日（第五週は無し）午後二時三十分から二階会議室で実施しています。

糖尿病教室の第四火曜日を栄養士が担当し、「食事療法のコツ」について指導しています。受講は、予約や料金などの必要はありませんので、食事について知りたいことがある方は、ぜひ参加してください。

患者さんの病態や状態に合わせ、病院の食事が少しでも楽しく、おいしく食べられることをめざして、厨房の職員一同、一層の努力をしていきたいと思いますので質問や意見などをお聞かせいただけると幸いです。

同じ病名でも病状、時期などにより基準の差はありますが、主な病気の食事制限はつきのとおりです。

腎臓病食　たんぱく質の制限、熱量の補給、塩分・水分・リン・カリウムの制限

糖尿病食　熱量の制限

肝臓病食　たんぱく質の加減、ビタミン・ミネラルの補給、刺激物・消化の悪いものの制限

脾臓病食　熱量・たんぱく質・ビタミン・ミネラルの補給、脂肪の制限

心臓病食　熱量・塩分の制限

高血圧食　塩分の制限、動物性脂肪・コレステロールへの注意

熱量・糖質・コレステロールの制限

物繊維の補給

どのような食事サービスを行っていますか？

A Q 提供している食事への評価・判定の方法は？

嗜好調査および残食調査を実施し、患者さんの意見を取り入れ献立の改善などの工夫をしています。

調査結果からの患者さんの評価は「味付けが薄い」という意見が多く見られます。塩分制限を必要としない方でも健康管理上、一日の塩分摂取量は十グラム程度が望ましいとされていますので、病院ではそれに準じて食事を提供しています。

医療の一貫として疾病の予防・治療および治療の促進に努めるよう、臨床栄養面から、患者さんへの正しい食事の計画（献立の作成）、給与（食材の発注・管理・調理）、指導（健康、栄養教育）をしています。

Q 病院栄養士はどんな仕事をしているの？

医療の一貫として疾病の予防・治療および治療の促進に努めるよう、臨床栄養面から、患者さんへの正しい食事の計画（献立の作成）、給与（食材の発注・管理・調理）、指導（健康、栄養教育）をしています。

老人保健施設「つる」のために  
芙蓉会代表　小池　知子  
金　五〇、〇〇〇円

福社業務のために  
佐野　勝太郎  
金一〇〇、〇〇〇円

宮井　政子  
マッサージ機　一台

個人指導  
医師の依頼により管理栄養士が日時の調整をし実施します。指導